

【三原村】

校務 DX 計画

1 学校現場における校務改善のためのクラウド活用

教員の業務負担軽減や情報共有の円滑化、何より児童生徒への教育の質向上に繋がることを目指して取り組むことが重要であるため、以下の3点に取り組む。

(1) グループウェア・校務支援システム・Google アプリの活用

- スケジュール管理や情報共有をクラウド化することで効率化できる

(2) 不要な手入力作業の一掃

- 紙からの転記や重複登録等の不必要な手入力作業が発生しないよう、各種データとの連携方法も含めて見直す

(3) FAX・回覧・押印の見直し

- メールやクラウドの活用を進めるとともに、各関係機関に対しても慣行の見直しを依頼するなど、継続的な働きかけを行う

2 保護者連絡ツールの活用とペーパーレス化の推進

保護者との連絡手段等についてもデジタル化が進んでいることから、以下の取り組みを進める。

(1) 保護者連絡ツールの見直し

- 管理・運用がしやすいツールの選定を実施（令和7年度「tetoru」に移行予定）

(2) 配布物のペーパーレス化

- 学校だより・献立表等、保護者配布物を保護者連絡ツールから配信する

(3) 保護者アンケートのデジタル化

- 紙媒体から Google フォームを活用し、ペーパーレス化の実現と集計作業の効率化を図る

3 生成 AI の活用

生成 AI を積極的に活用することで、以下のことが期待できるため取り組みを進める。

(1) 資料作成の効率化

- 指導案、テスト問題、教材などの作成を大幅に効率化できる

(2) 事務作業の自動化

- 報告書、連絡文書などの定型的な文書作成の自動化

(3) 情報収集の効率化

- 多量の情報を短時間で集約・要約することができる